

小学 1 年 1 組 生活科学習指導案

指導者 大坂 慎也

1 単元名 ようちえんのともだちと、なかよくなるう

— レッツ・ゴー ミニえんそく —

2 単元のねらい

年長児とともにミニ遠足を楽しむにはどうしたらよいかを考えることで、年長児と進んで関わろうとしたり、年長児との関わりを楽しんだりすることができる。

3 授業の構想

(1) 本校では、6年生が1年生の世話をする場面がたくさん見られる。1年生に対して6年生が毎朝のように教室に来て、ランドセルから教科書やノートを出して引き出しにしまったり連絡帳や提出物を教師の机に置いたり、献身的に1年生の世話をしている。休み時間には教室や中庭で一緒に遊んだり、給食の盛り付けや配膳を手伝ったりもしている。また、2年生とは、学校探検で校内を案内してもらったり、サツマイモ栽培・収穫を年間を通して教えてもらったりして交流を深めてきた。

このように、異学年で交流することを通して、上学年のお兄さんお姉さんの姿を間近で見ながら「お姉さんはやさしいな」と上学年にあこがれをもったり、「こんなお兄さんになりたい」という願いをもったりする1年生はたくさんいる。そして、様々な異学年交流活動で感じたことや学んだことを今後の異学年交流活動の場でいかしてほしいと願っている。

本校では平成20年度から、1年生と附属幼稚園の年長児との交流活動を生活科の学習の一つに位置付けて年間を通して行っている。「わいわいランド」という名称で、1学期は1年生が幼稚園の園庭に行き一緒に遊んだり、年長児を小学校の中庭に招待し1年生が考えた遊びを一緒にしたりする活動を行ってきている。このような交流活動を行うことは、異年齢の子どもとの関わりを深めたり、そこから成長した自分に気付いたりする場となっている。

本単元では、年長児と一緒に北公園にミニ遠足に行くに当たって、これまでの異学年交流活動をふまえ、今度は自分たちがお世話をする立場となることから、自分だけでなく年長児も楽しめるミニ遠足にするにはどうすれば良いのかを考える。2年生とのこれまでの交流を通して自分たちが上学年にしてもらっていたことを想起したり、これまでのわいわいランドでの経験を振り返ったりすることで、年長児と一緒に楽しめるミニ遠足にするにはどうすれば良いかを考える。そして子ども一人一人が考えたことをミニ遠足紹介パンフレットにしてまとめ、年長児にミニ遠足について紹介する。1年生の「年長さんと一緒に楽しみたい」「年長さんのお世話がしたい」という思いや、年長児の「ミニ遠足が楽しみ」「1年生さんと一緒にミニ遠足に行きたい」という思いがさらに高まったところでミニ遠足に出かける。手をつないで安全に気をつけて学校と北公園の道のりを歩いたり、北公園で年長児とともに楽しめる遊びを一緒にしたりする。

このような活動を通して、「もっと〇〇してみたい」という思いや願いから、相手意識をもちながら「こんなことに気をつけたらいいんじゃないかな」「こんなことをすると喜

ぶんじゃないかな」という思いや願いの高まりを期待したい。そして、年長児との関わりの楽しさに気付くとともに、自分自身の成長にも気付いてほしいと願っている。

(2) そこで、本単元を構成するに当たっては、以下の3点を大切にしていきたいと考えた。

① 願いをかなえようとする問いが生まれる対象との出会わせ方を工夫する

単元の導入として、子どもが「幼稚園の年長さんとまた遊びたい」「年長さんとどこかに行きたい」という思いや願いをもつことができるように、これまでの年長児との交流活動を想起させる。そうすることで「これまではこんなことができたね」「今度は〇〇を試してみたい」「今度は、〇〇なことを考えてやりたい」という思いや願いをもつと考える。そして、2年生と行ったサツマイモ栽培などを想起させながら、今度は立場を変えて自分たちが上学年として年長児を世話したい、一緒に楽しみたい、そのためにはどんなことができるのかを考えることができるようにする。

② 一人一人の追求を支える対話

子どもの「こんなことして遊びたい」「こんなふうにお世話したい」などという思いや願いが実現するためには、その時々思いや願いをとらえることが大切である。子どもとの会話や子どもが書き記したのから子どもがこだわっていることや追求していることを具体的にとらえて把握する。そして「〇〇さんは、こんなことを考えているんだね」と思いを整理したり、「〇〇を試してみたら、どう」と提案したりしながら関わっていくことで、子ども自身が追求していける環境を整えることができると考える。

③ 気付きが広がり深まるための学び合いの設定を工夫する

年長児とどんなことがしたいのか、そのために1年生としてどんなことができるのかを考える中で、子どもは「こんなことしたらいいんじゃないかな」「どうやったら年長さんが喜んでくれるかな」「こんなことができるかも」という気付きや思い、願いが出てくるであろうと考える。また、「友だちは、どんなことを考えているのかな」「友だちの考えも聞いてみたいな」という思いや願いももつであろう。そのような時、子ども一人一人がもっている気付き、思いや願いをその子ども一人のものにするのではなく、お互いに教え合ったり伝え合ったりする中で、それらを共有する。そうすることで、一人の気付きが周りの子どもに広がったり、気付きがさらに深まったりしていく。そして次の活動に向かっていく意欲を高めることができると考える。

4 展開計画（全15時間 本時9/15）

次	時	主な学習と具体的な学習・内容	◇願う子どもの姿
1	1 2	○異学年交流活動を振り返ろう ・これまでのわいわいランドや2年生との交流活動を想起する ・ミニ遠足に行くに当たって、年長児に何ができるかを考える	◇1年生としてわいわいランドで意識したことを考えている ◇年長児に楽しんでもらえる方法を進んで考えている
2	3 4～6 7・8 ⑨・10 11	○ミニ遠足の準備をしよう ・ミニ遠足の下見に行く計画を立てる ・ミニ遠足の下見に行く ・ミニ遠足の下見で見つけたことや気付いたことを伝え合う ・紹介パンフレットを作成する ・年長児に紹介パンフレットを紹介する	◇年長児とともにミニ遠足を楽しむという見通しをもっている ◇年長児とともに楽しむという視点で下見をしている ◇下見を通して気付いたことを、年長児に分かりやすいように紹介パンフレットとしてまとめている
3	12～14 15	○ミニ遠足に行こう ・年長児と一緒にミニ遠足に行く ・ミニ遠足を振り返る	◇年長児と進んで関わろうとしている

5 本時の学習

(1) ねらい

ミニ遠足に向けて年長児が楽しみな気持ちを高めることができるように，紹介パンフレットの内容やそれを用いての伝え方を考えながら，紹介パンフレットを作ることができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
<p>1. 前時を振り返る。 ミニ遠足の下見をして，北公園で見つけた楽しいことなどを，紹介パンフレットにして年長さんに紹介したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ミニ遠足の下見をして見つけた楽しみ方などを紹介パンフレットにして年長児に伝えたいという思いを高めることができるように，前時を振り返る。
<p>ミニ遠足が楽しみになるようなパンフレットをつくろう</p>	
<p>2. 年長児にミニ遠足を紹介するための紹介パンフレットを作る。</p> <p>3. 紹介パンフレットをもっと楽しく，もっと分かりやすいものにする作り方を考え，伝え合いながら，自分の紹介パンフレットの作り方を見直す。 (紹介パンフレットを作る活動の中で)</p> <ul style="list-style-type: none"> クーピーを使って色を塗ると，年長さんが「見たい！」って思うかもね。 パンフレットを本の形にしたら年長さんも読みやすいと思うよ。 地図みたいにかいたら，分かりやすいかもしれないね。 写真を貼ったら，北公園のことがよく分かるよ。 何をして遊ぶかかくと，楽しみな気持ちが膨らむよ。 お気に入りの場所をかいておくと，年長さんが喜びそうだね。 危ないところや行ったらいけないところを書いておくと役に立つね。 トイレの場所も必要だね。 	<ul style="list-style-type: none"> 下見や，その後の伝え合ったことなどを通して気付いたことや考えたことを想起できるようにする。 友だちの考えや作り方を聞くことで，紹介パンフレット作りにはいろいろな方法があることに気付くことができるようにする。 「ぼくは，こうしたよ」「〇〇さんのやりかたもいいかも」「もっとこうすればいい」という考えを伝え合うことで，今後の活動への見通しをもち，追求意欲を高めていく。 自分の考えが友だちにより分かりやすく伝わるように，実物を示しながら確認できるようにする。 <p>— 評価の観点 (活動や体験についての思考・表現) —</p> <p>年長児にとってミニ遠足が楽しみになるような紹介パンフレットの作り方について，友だちの考えも聞きながら，自分なりに考えたり，工夫して作ったりしている。</p> <p>【評価方法 活動，パンフレット，ふりかえりカード】</p>
<p>4. 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちのパンフレットを見たり一緒に考えたりしながら，年長さんが「ミニ遠足が楽しみだな」「早くミニ遠足に行きたいな」と思ってもらえるようなパンフレットを作ることができました。このパンフレットを早く年長さんに見せてあげたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえりを共有することで，年長児が楽しめる活動を考える喜びを味わうとともに，早く年長児と関わりたい，年長児とともに楽しみたい，世話がしたいという思いや願いが高まるようにする。